

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 総務-15 職員厚生事務 ☒ 支 援 部 門									
主管課	職員課 厚生健康担当					関連課				
分野名	行財政運営									
目標 (目標値)	・職員の安全衛生向上 ・健康診断受診率の向上 ・定期健康診断の単価									
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考					
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯						
	事業の対象者数									
運営資源 状 況	決算値(千円)	67,741	73,631	85,027						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	67,741	73,631	85,027						
	人員配置数	5.3	4.3	4.3						
	人件費(千円)	45,853	40,159	40,297						
	協働の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	113,594	113,790	125,324						
	市民1人当 りの経費(円)	641	644	710						
	対象者1人 当りの経費(円)	81,724	81,278	89,072						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名	鎌倉市	横須賀市	平塚市	藤沢市	逗子市				
	事後指導	定期・ドック	定期・ドック	定期・ドック	定期のみ	定期・ドック				
	メンタル医相談	月3回	月1回	なし	月1回	月1回				
	過重労働対策	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済				
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)			
健康診断受診率	◎	目標値	98	98	98	98	98			
		実績値	98	99						

◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。				②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。				④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。			
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止			
職員厚生事務	3,689千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	職員の公務災害等に対する災害補償								
福利厚生事務	39,219千円	①効率性	△	②妥当性	△	③有効性	△	④公平性	△	⇒ □A □B ■C □D □E
	事業の概要	職員用被服、職員の福利厚生事業								
安全衛生事務	16,025千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒ ■A □B □C □D □E
	事業の概要	職員定期健康診断等の健診業務及びメンタルヘルスチェック、職員相談室開設業務等の実施								
総合健康診断事務	8,808千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	△	⇒ □A □B ■C □D □E
	事業の概要	総合健康診断(人間ドック)の一部負担								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要									

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)						
H22年度の課題	職員のメンタルヘルス・長時間労働対策については、早急な課題の解決は難しい状況にある。					
課題解決のための取組	職員のメンタルヘルス・長時間労働対策については、市全体で取り組むべき重要課題であり、安全衛生協議会等において、協議・検討が行ったところである。また、職員向け「メンタルヘルス対策」の小冊子の内容を見直し、非常勤職員も含めた職員全員に配布し周知・啓発を図った。					
未解決の課題	職員のメンタルヘルス・長時間労働対策については、早急な課題の解決は難しい状況にある。					
今後の方針	職員の健康管理、安全衛生対策については、重点課題と認識しており、引き続き、効果的な取組みを検討しつつ、順次対応可能な事業から実施していく。					
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	A	※ □事業完了	課長名	職員課課長代理 佐々木 聡

個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果	
職員厚生事務	主な個別事業 471	職員の公務災害等に対する災害補償費	3,998	3,651	■適切	□見直し余地あり
福利厚生事務	主な個別事業 509 509 509	職員用被服費 職員の福利に係る外部委託料 職員厚生会への業務委託料	15,000 23,650 17,700	9,025 15,734 14,388	□適切 □適切 □適切	■見直し余地あり ■見直し余地あり ■見直し余地あり
安全衛生事務	主な個別事業 510 510 510 510 510 510	定期健康診断等に係る普通旅費 職員定期健康診断委託料 メンタルヘルスチェック業務委託料 職員相談室開催業務委託料 深夜業務職員定期健康診断委託料 がん検診委託料	1,260 9,962 4,589 2,376 651 668	444 7,944 1,611 2,376 526 201	■適切 ■適切 □適切 □適切 ■適切 ■適切	□見直し余地あり □見直し余地あり ■見直し余地あり ■見直し余地あり □見直し余地あり □見直し余地あり
総合健康診断事務	主な個別事業 511	総合健康診断負担金	10,625	8,808	□適切	■見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり